

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 4 月 10 日

事業所名 多機能型事業所けやき

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動の内容、種類によりスペースを分け工夫しています。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		法令で定められた人員配置基準を満たした職員数を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか、また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		施設内はバリアフリーになっており、障がいの特性に応じた環境を整えています。また、一人ひとりに合った環境を作り快適に過ごせるように工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		エアコンや床暖房を完備し快適に過ごしていただくような空間作りをしています。メンバーや活動に応じて環境を整え活動しやすい空間をつくっています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		定期的にスタッフ全員が業務改善について、活動後の良かった点、工夫すべきことを考え意見交換をしています
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		このアンケート結果を元に業務改善に努めていきたいと思えます。意見交換などの場を作り保護者様の要望や思いを受入れ改善できるように努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページ上で公開をしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	第三者評価に関しては来年度中までには実施予定です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		月に1~2回の研修会に参加しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		半年に一度または必要に応じてアセスメントを行い子どもさんの成長に合った計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		アセスメントを行うために様式を作成し様式に沿って必要な情報を得られるようにしている
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		子どもさんの情報をより多く集め生活環境を把握し本人の要望や必要な活動を把握し療育内容を設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		児童発達支援計画の目標に応じた活動や支援を確認し話し合いながら関わっています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		各専門スタッフが集結しプログラムの作成を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		子どもさんの成長や要望を把握し、こども療育センターの訪問支援等を活用しアイデアやアドバイスをいただきながら工夫したプログラムの作成を行っています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別支援、集団活動を組み入れた支援計画を作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼を活用し、支援内容の確認等を行っています。(アレルギー等身体的配慮も)
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼を活用し、気づき等を振り返り情報を共有しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		小さな成長も見逃さず記録に残し、検証及び改善に繋げています。
	20 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		モニタリングや個別支援計画案をスタッフ全員で検討会を行っています。専門分野からアドバイスをもらっています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	担当者会議には児発管を中心に、状況にあった専門スタッフが出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	状況に応じて会議等に出席しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	関係機関等と連携をとりながら支援を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	担当者会議等を利用して医療機関等と連携体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	必要に応じて来所していただいたり、訪問して情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	ご家族に確認した上でサポートブックの作成を行い情報の共有を行った。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	圏域内での随時支援を活用し、研修を行っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	地域との交流はできていない状況にあります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	これからの課題であり参加できる環境を整えていこうと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時やご家族来所時など情報交換を行い、相互理解を行っています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○	保護者が困っている事、悩んでいる事などを話しやすい環境や関わりの中で具体的なアドバイスができるように努めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に行っています。さらに丁寧に納得される説明をするように心がけます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	保護者様、子どもさん本人の要望をしっかりと聞き取り、本人に合った療育ができるように計画を確認しながら同意を得られるように努めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	随時、悩みや相談に対しては適切に対処させていただいています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	いろいろな行事を開催し、ご家族に参加いただき保護者同士の連携を密にしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情については苦情窓口を設けて適切な対応が行えるようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	長期休暇のみ利用されているご家庭にも今後も定期的に情報発信を心掛けています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	個人情報の取扱いには十分な配慮を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	子どもさんまたは保護者様に合った関りを配慮しわかりやすく伝えるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	バーベキュー会やXmas会などの行事を通して地域の方と関われるように努めています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	各マニュアルを策定し、訓練も実施している。保護者に対しては周知徹底できていない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	訓練は実施できている。今後も継続して実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	初回利用聞き取り時、半年に1回のモニタリング時。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギーのあるお子様に対しては栄養士の指導の下、適切な食事の提供を行っている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット事例集を作成し各部署スタッフと共有し再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修会に参加し、適切な対応を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	身体拘束が必要な場合、必要と思われる場合は身体拘束に関する事を支援計画書に記入し、ご家族に同意をいただいています。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。